

# じゃっと新聞

No.77号

新年のご挨拶 総会案内

発行日：2021.1.29

発行人：古田 宣稔

発行所：じゃっと事務局

〒895-0051

鹿児島県薩摩川内市東開聞町 3-1

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail info@jaddo.or.jp

http://www.jaddo.or.jp/



理事長 古田 宣稔

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には平素より「じゃっと」の活動にご支援とご協力を頂き感謝申し上げます。新型コロナウイルスが世界中に拡大し始めてから約一年が経過しました。じゃっとの活動の柱であるスタディツアーの中止、ラオスでの活動が思うようにできない今、何ができるかが問われていると思います。昨年の後半から事務局中心に川内南中学校、川内商工、川内高校で絵本活動を行い、パネル展につなげています。また、支援者の協力で今年になって鹿屋でもパネル展を行います。

この一年で私たちの社会生活は想像もしていなかった世界になり、大人から子供達まで「ステイホーム」「ソーシャルディスタンス」「テレワーク」新しい生活様式に少しずつ適応しながら日々の生活を営んでおります。ラオスの子供達の毎日に変化があったのか、心配になります。

様変わりした新しい年がどうなっていくか、すぐに改善されることはない中、常に変化する社会環境に合わせていくじゃっとにも「進化」が求められていると実感しています。

ラオスは青年海外協力隊が世界中から撤退してから、最初に国際協力が再開される8か国に含まれ、感染者が少ない国です。だからと言って、じゃっとの活動が直ぐに始まるわけではなく、ラオスのスタッフとzoom会議を行いながら限られた中で支援をスタートしています。

今年の目標として、移動が限られています国内活動の充実を一番に力を蓄える年にしたいと考えております。昨年パネルの写真を新しくしましたので、パネル展を計画していきます。コロナのワクチンができ人々の交流が出来るようになったら、是非新しいパネルを見てもらいたいと思っています。

コロナで活動が制限される時だからこそ、皆様からの積極的な提案をお待ちしております。

日本国内の事が大切です、同じように世界も大切です。我々はラオス支援を通じて、世界の平和に寄与していると考えます。今年も一緒にじゃっと活動を行いましょ、皆様のご支援をお願い致します。



## ■2020 ラオス活動報告



2020年12月ビエンチャン市内の Nongsangthor 小学校からリクエストされていた校門が完成しました。



木材の伐採を禁止されてから市内ではプラスチックの椅子が主流になっています。不足している為新しい椅子を供与しました。



ラオスで Dr.コンサップ  
と一緒にじゃっどの活動  
を手伝ってくれる  
NouNou さんです。  
よろしくお願いします！

ビエンチャン郊外の Samket 小学校は天井がなく、トタンの屋根がむきだして、夏には 40°C 近くまで上昇しかなり蒸し暑く、子供たちは過酷な環境で勉強しています。じゃっどはこの学校を支援することに決め、次回は天井が完成し笑顔の子どもたちの姿を見ることができるようでしょう。



## ■2020 国内活動報告



2020年10月 川内商工高校の文化祭でじゃっどの活動をパネル展示しました。



12月川内高校でパネル展示しました。



12月 川内南中学校のボランティア部の絵本シール貼りの活動が南日本新聞に掲載されました。

今年度はコロナの影響でイベント等がほとんど中止になり出番がなかったパネルたちの展示をこの2つの高校で受け入れていただき実施しました。スタディツアーも中止になったため過去の参加者の様子を見てもらい、ラオスという国を知ってもらう良い機会になったと思います。

また同時に絵本にラオス語訳シールを貼る作業も協力いただきました。初めて見るラオス語の文字に上下がわからず苦労したけど楽しかったと感想をいただきました。参加いただいた皆さん、パネル展示していただいた学校の先生方、ありがとうございました。

新年になってもコロナ禍の第三波の急拡大が止まりません。私達はどのように対応すればよいのか、考えてみましょう。

新型コロナウイルスは感染すると、80%は無症状で、20%が重症化します。肺炎・血栓症などを引き起こします。高齢化に従い重症度は上がり、80歳超では死亡率15~30%です。感染者の80%は他人に感染させませんが、20%はさせます。加えて、感染力が1.7倍の英国由来の変異型ウイルスは、日本でも市中感染発生し、懸念されています。

2021年1月22日の世界感染者数は、96,267,473人、死亡2,082,745人で、欧州、両アメリカ大陸を中心に深刻です。とくに米国は24,225,155人で危機的状況です。一方、日本は1月22日現在、感染者数357,733人、死亡4,994人です。欧米に比べれば少なくとも見えますが、中東を除くアジアの中では劣等生です。インド10,625,428人、インドネシア965,283人、バングラデシュ530,890人、フィリピン507,717人に次いで多いのです。アジアで少ないのは、太平洋島嶼国は別として、ラオス、フィジー、カンボジア、台湾、パプアニューギニア、モンゴル、ベトナム、ニュージーランドです。ラオスは41人で、原因はよく分かりませんが、感染拡大がないので、医療事情を考えると喜ばしいことです。Dr Kongsapは奥様のDr Somchitが他界された後、昨年2月にフランスの娘さん夫婦宅を訪問していましたが、パンデミックでそのままロックダウンされてしまいました。半年間もラオスに帰れず、8月漸く帰国できましたが、2週間完全隔離でどこにも出られず、自宅にたどり着いたときは相当に消耗していたようです。本当にお気の毒でした。

日本のパンデミック対策は、初期は手探りでしたが、クラスター対策や8割移動自粛など、分かりやすい目標を提示したと思います。しかし、政府のその後の対応は、ちぐはぐな印象です。「健康より経済」を優先して、Go ToトラベルやGo Toイートを奨励する一方で、三密回避、マスク着用、多人数での飲食自粛、イベント参加人数制限要請など、個人や民間任せの状態でした。正に二律背反です。また検査数の少なさ、感染源不明の増加など、対策のヒト・モノ不足が明らかでした。第三波が嘗てない拡大を続ける中、昨年末、政府コロナ分科会の尾身会長が、「個人の努力だけに頼るステージはもう過ぎた」と発言し、公的な対応を求めたのは印象的でした。しかし流石にここへ来て政府方針も変化が見られ、11都道府県への緊急事態宣言、Go ToトラベルやGo Toイートの一旦停止、より強い移動自粛・制限の要請、医療や飲食店や個人への経済的支援、検査数の拡大等、対策が打たれています。崩壊寸前の医療体制の維持のための予算も配分されています。特措法の改正による、罰則付きの移動制限等も議論されています。疲弊した保健所機能の改善のため、人材掘り起しの予算もつけられています。ワクチンに関しては、世界60か国で接種開始されていますが、日本での確保も進んでいます。ファイザーと7200万人分の契約を締結しました。接種も2月中に開始予定で、低温機材も整備中です。

しかし抗ウイルス薬が開発された訳ではなく、ワクチン効果も確認中で、根本的な対策はまだないと考えなければなりません。行政対応も、対症療法的なものです。対策の本質はやはり「感染予防」です。その第一は、ソーシャルディスタンスです。現在、家庭内感染が増加しています。コロナを家庭に持ち込むのは、家族の誰かの飲食や集団会合を通じてと考えられます。知らない人との密な接触が危険なのは当然ですが、親しい人達でも、否、であるからこそ、高い「三密」予防意識が必要です。第二に、手指消毒、マスク、環境整備等の衛生手技です。昔から日本人の風邪予防といえば、マスク・手洗い・うがいでした。コロナ禍の初期は、WHOも米国疾病制御センター(CDC)もマスクなど無用との姿勢でした。しかし現在は世界標準の予防策です。真偽区別つかない情報の洪水の中で選択を誤らないようにしましょう。様々のメディアが情報を大量に流し、全く逆のことを言ったりします。流されることなく、自分にできる範囲の予防策を日々行いましょう。

この一年で理解したことですが、感染症の爆発的流行の前では、「日本人の民度の高さ」が全く機能しないことです。地震や大雨災害では真っ先に現場に駆け付けたり、炊き出しをしたり、募金したり、支援を惜しまない同じ人々が、感染者や医療提供者やその家族に石を投げたりするわけです。一方、「自粛ボリス」という言葉が生まれるほど、同調圧力の強い日本人の特性が言われ、パンデミックはこれで収束できるのではないかと根拠のない期待もありました。しかし、移動自粛・規制が解除されると、一斉に人口移動が始まり、夜の街も飲食店もイベントも、マスクも三密回避もない人々で占められるようになりました。再度緊急事態宣言が出されましたが、人々の反応、とくに若者は今一つです。これも付和雷同というか易きに流れるというか、「赤信号みんなで渡れば怖くない」というか、日本人の同調性・国民性が逆に作用した結果なのでしょう。若者にこそ感染予防のイニシアティブを取ってもらって、「新しい日常」に対応していきたいものです。



## 【事務局たより】

新規会員・ご寄付 (2020.6.26~2021.1.20)

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきました。(以下敬称略)

- 新規会員 小平敏明 (薩摩川内市)
- 令和元年度会費 高木史江 (岩手県)
- 令和2年度会費 小林キヨ子、江口是彦、畠中萌々子、古田宣稔、南恭子、永田喜久恵、中村吉治、増岡淳子 (薩摩川内市)、野元善文 (いちき串木野市)、大谷昂、桑原美智子、米山史朗、増田隆信、増田康佑、弓場秋信 (鹿児島市)、下川恵子 (福岡県)、田良島美佳子、鎌田到、鎌田佳代子 (東京都)、大園孝子 (岡山県)、高木史江 (岩手県)
- 令和3年度会費 東條勝代、山本澄子、(株)橋口組、濱田時久、江口是彦、土川京子、南恭子、中野育子、かんだ調剤薬局、平山健介 (薩摩川内市)、平屋四男、野元善文 (いちき串木野市)、嶽崎俊郎、弓場秋信 (鹿児島市)、望月明子 (神奈川県)、鎌田到、鎌田佳代子、若松裕子 (東京都)
- 令和4年度会費 高野眞綾 (埼玉県)、立石智子 (福岡県)
- 令和5年度会費 下尾崎健一 (薩摩川内市)
- 令和6年度会費 谷口征夫 (薩摩川内市)、南武嗣 (鹿児島市)、堀田哲一郎 (広島県)
- 令和7年度会費 澤田達男 (東京都)
- 寄付金 小林キヨ子、山本澄子、下尾崎健一、濱田時久、上白石大喜、永田喜久恵、畠中萌々子 (薩摩川内市)、野元善文 (いちき串木野市)、嶽崎俊郎 (鹿児島市)、高野眞綾 (埼玉県)、若松裕子 (東京都)、高木史江 (岩手県)
- 大口寄附金 東條勝代、澤口ミチ子 (薩摩川内市)

石山利江 (阿久根市)、ワールドサンフーズ (鹿児島市)、望月明子 (神奈川県)、岩崎直子 (東京都)

- 印刷協力 神崎侯至 (株式会社アクティブ)  
(株)橋口組
- 新聞発送協力 立島尚子

## 【国内活動】

- 5月29日 新パンフレット 1000枚作成
- 6月25日 じゃっど新聞 76号発行
- 10月20日 絵本翻訳シール貼り
- ~11月30日 (協力校)
  - ・川内南中学校ボランティア部
  - ・川内商工高校ボランティア部
  - ・川内高校生徒会
- 10月24日 令和2年度 第2回理事会
- 10月30日 川内商工高校文化祭にてパネル展示
- 11月25日 新パネル完成
- 12月2日 南日本新聞社より取材 (古田)
- 〃 川内高校 パネル展示依頼訪問 (古田)
- 12月11日 川内高校にてパネル展示 ~18日まで
- 12月18日 「頑張ろう! NPO 法人向け講演会」& 意見交換会へ参加 (神崎)
- 1月9日 令和2年度 第3回理事会
- 1月22日 鹿屋市立野里小学校 畠中先生 事務局来訪 (パネル展示協力)



ラオスの国花である、ブルメリアの花を育てています。昨年秋に挿し木を購入し植えてみました。つい最近、新芽が出始めていることに気づきました! 今年の夏には、可憐な花が咲いてくれることを期待しつつ・・・

このような花が咲く予定です→



# じゃっど INFORMATION

## ◆ 総会のお知らせ! ◆

日時 ; 2021年5月15日(土) 15:30~16:30(予定)

場所 : SSプラザせんだい(薩摩川内市川内駅コンベンションセンター)

正会員の方は万障お繰り合わせのうえご参加よろしくお願いします。

### じゃっどオリジナルポストカードできました

今年もじゃっどの活動をご支援頂き、誠にありがとうございます。そこで皆様からのあたたかいご支援に感謝し、じゃっどオリジナルポストカード3枚セットをお送りさせていただきます。今の状況だからこそお手紙を通じて大切な方へ是非使っていただけたらと思います。

どうぞ、これからも末永くご支援いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

**注:ポストカードに切手はついておりません**

### ラオスのコロナ状況

ラオスの現在のコロナ感染者数は41人です。(2021年1月25日情報更新)他国からの入国は、人道的な理由を除き不可になっています。ラオスでもマスクの着用やソーシャルディスタンスを行っているようです。

会員様の会費納入状況(会費有効期限)は、宛名シール内に記載してありますので、ご確認ください。(今年度令和2年度会費の有効期間は、令和2年4月1日~令和3年3月31日です)令和2年度納入された方には、宛名シール:会費有効期限 R3/3/31とあります。 ※振込用紙はすでに次年度会費を納入済みの方にも同封してあります。寄付金等のご協力にお使いいただければ幸いです。

じゃっどの活動は皆様の会費に支えられています。寄付金、随時受け付けております。税金の控除対象になります。よろしくお願いします。

ゆうちょ銀行: 01740-2-170105

口座名: 特定非営利活動法人 じゃっど

カイソーン初代大統領(現ラオスを建国した)生誕100周年記念の催しがラオス国立文化ホールで行われ、じゃっどスタディツアーで大変お世話になっているラオス在住の虫明氏がケーン演奏で参加しました!!

詳しくは、下記のyoutubeをご覧ください。

<https://www.youtube.com/KS2yv7gPnBs>

出演は1:38.40からです♪ケーンの演奏でラオスの音楽をお楽しみください♪



### ★★編集後記★★

★コロナでラオスも遠いですね。どこにも行けず日本・世界の全てに距離を感じます。どこか旅に出たいですね!

KAMI

★黒米を白米に混ぜて炊いて炊飯器の蓋を開けると、タイにいる錯覚をおぼえた朝でした。もち米を炊くとラオスの朝にタイムスリップできるかも。嗅覚は記憶のトリガー!

はいぶりっじ

★コロナ禍で、今まで日々なんの変哲もない日常がとても有り難く感謝しなければいけない事なのだと改めて気づかされ、最近少し主人に優しくなれている自分・・・。K.I

★去年から事務局員になりましたが残念ながら去年はコロナの影響でラオスに行けませんでした。早くコロナも落ち着いてラオスに行ける日がきますように Choma